

【一】 次の文章は、物事を数値化することで失われる「生きることの豊かさ」について述べられた文章です。本文を読み、後の問いに答えなさい。

数字にはさらに大きな危険性が⁰潜んでいる。それは数字の「分かりやすさ」から起る問題だ。数字による評価がなければ、私たちの生活はどれだけ曖昧で、分かりにくいものになっていることだろうか。しかし、「曖昧さがなく、分かりやすい」ことによつて、犠牲になっているものがある。それは「人と人との間のコミュニケーション」だ。そして、「世界が多様なものであること」の感覚である。

数字は分かりやすい。数字を「出発点」として捉えるのではなく、数字を「A」としてしまえば、そこには議論の余地がない。数字の大小で優劣が決まってしまう。だから数字で語れば、人と人との間で議論をする必要がない。つまり、コミュニケーションの必要がないのだ。

そして、数字で語れば頭を、感性を使わなくてもいい。数学六〇点と聞けば、「八〇点を目指せ」と言っておけばいいし、視聴率競争では「この前負けた視聴率を取り戻せ！」とはつばをかければいい。特に自分の頭と感性を使わず、決まり切ったことを言っておけばいいのだ。

そういった社会とはいかなる社会だろうか。それは〈様々な価値観、「生きる意味」を持った人たちの多様な意味づけの中で、互いに話し合いながら合意を形成していく〉のではなく、〈「生きる意味」を*捨象して、横断的に通ずる「数字」で物事を解決しようとする〉ような社会だ。ひとりひとりが¹固有な「生きる意味」の世界を生きていることには配慮が払われず、効率的な「数字」がひとり歩きしていく。

「数字信仰」は私たちの「コミュニケーション」を犠牲にする。私たちの社会で交わされるコミュニケーションは²とてつもなく薄つぺらいものとなつていく。

かつてニューヨークに住んでいた私の母から³恐ろしい話を聞いたことがある。パーティーで初対面の人たちが出会ったとき、当然「あなたはどんな職業なの？」と聞き合うが、聞き慣れない職種を相手が言つたとき、「それはどんな職業なの？」と聞くかわりに、あるときから「それで、それつてどのくらいの年収なの？」と質問し、年収の額を聞いて「ああ、だいたい分かつたわ、ありがとう」という会話が目立つようになってきたというのだ。ひとりひとりの職業という「固有の意味」をお互いに知り合うことなく、「年収」という薄つぺらな数字を知ることでは話が終つてしまう、そんな「豊かな」社会がそこにはある。

しかし、そのアメリカのパーティーでの話を私たちも笑えない。この日本社会で通用してきた会話もまた、「どこにお勤めですか」「〇〇商事です」「まあ、立派な会社にお勤めで」とか、「どこの学校に行つての?」「△△高校です」「ふーん」といった、表面的な会話ではなかつたか。会社の名前を聞いたからといって、それ以上のことは分からない。その会社で一体どんな仕事をしているのか。どんなことを生きがいにしているのか。いまどんなことに悩んでいるのか等々、そういった固有の「生きる意味」を聞くことなしには、その人とのコミュニケーションとは言えないのだが、会社の名前を聞くだけでそれ以上のことに興味を持たないようなコミュニケーションのあり方が⁴まかり通つてきたのだ。

それはいま地球上で起こっている問題でもある。世界には様々な文化があり、ひとつひとつは固有の世界観を持っている。またひとつの文化の中でも、ひとりひとりが異なるものの感じ方、考え方を持っている。そうした「多

様性」があるからこそ、私たちは他者の世界を理解しながらコミュニケーションを行う必要があるし、それは私たちの「生きる意味」の世界を豊かにしていくものである。

ところがその反面、そうした多様性は、効率性の悪いシステムであると言える。相手の文化的な背景を理解し、「生きる意味」のありかを理解しようとしていては、コミュニケーションの効率は良くない。そこには様々な誤解や*齟齬が当然生じてくるし、そこを乗り越えていくには時間がかかるのだ。(中略)

世界が多様な文化によって成り立っていることによる非効率性、それを解決するのが「B」に他ならない。その文化がどうであれ、一万ドルは一万ドルでしょう？ 年収三万ドルのほうが一万ドルよりも望ましいでしょう？だからどんな文化に属する人でもみんなが数字の大きい方を求めていきますよね？というわけだ。Cが⑤依拠しているのは、まさにこの「多様な文化を超える数字信仰」に他ならない。数字は効率的だ。数字は分かりやすい。相手の「生きる意味」だの何だの、面倒くさい話をする必要がない。数字があれば瞬時にコミュニケーションが取れる。ハウマツチ？とさえ聞いていればいいのだ。

しかし、現在の世界で起きていることは、そうやって〈誰にも通用する「意味」を求める〉あまり、結局のところ〈誰の意味にもなくなるとなる〉、という⑥皮肉な現象である。収入の数字が上がればそれだけで幸せになるという薄っぺらな「生きる意味」では、私たちは実のところ本当に私の人生を生きている実感が得られない。学生は成績の点数さえ上がればそれでいいのだと言われても、私たちは自分の大切なものが置き忘れられていると感じる。どんな国もGDPの数値を上げることが目標だと言われると、私たちの文化的伝統はそんな薄っぺらなものではないと言いたくなる。分かりやすい「数字」で私たちの「生きる意味」が規定されようとするとき、私たちはその分かりやすさに魂を奪われそうになりながら、「そんなはずはないのだ」と自ら⑦葛藤する。その葛藤がいまこの地球上のいたるところで、あるときはテロリズムや戦争となつて、あるときは若者の反乱となつて、あるときは鬱病や自殺となつて、様々な形で現れているのである。

「数字信仰」からの解放が求められている。数字は私たちが使いこなすものだ。私たちが数字に使われるようになつては、私たちの「生命の輝き」は死んでしまう。そして、私たちの豊かなコミュニケーションは失われ、私たちの思考力と感性も死に⑧絶えてしまう。そして、ここにかけがえのない「生きる意味」を持った私がいて、そこにかけがえのない「生きる意味」を持ったあなたがいるという、この世界の豊かさから私たちは追放されてしまう。

二〇世紀は数字の勝利の時代であつた。そして数字が豊かさをもたらす時代であつた。しかし二一世紀もその信仰が豊かさや幸せをもたらす続けられるだろうかと考えるとき、私は否定的にならざるをえない。数字信仰がもたらす⑨被害に私たちは既に気づかざるをえないところまできている。数値的にはもうこれだけ私たちは豊かになったのだ。いまこそその数字への執着を手放すこと。そして⑩真の豊かさ、「生きる意味」の豊かさへとシフトすること。そのプロセスこそが、二一世紀初頭の私たちの文明的課題なのである。

〈 上田紀行(二〇〇五)『生きる意味』岩波新書より 〉

* 捨象…多くのもので、共通するところを抜き出して一つの考えをまとめる時、共通していないものは捨て去ること。

* 齟齬…物事がうまくかみ合わないこと。食い違いのこと。

問一 二重傍線部①～⑤の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

問二 文中の「A」も「C」に当てはまる語句として、次の中から最も適当なものをそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

A

ア．中継点 イ．真実 ウ．前提 エ．結論 オ．記号

B

ア．固有の意味 イ．数字信仰 ウ．成績 エ．他者の世界 オ．合意形成

C

ア．プロセス イ．グローバリズム ウ．コミュニケーション エ．ロックダウン
オ．パーティー

問三 傍線部1「固有な『生きる意味』の世界」の内容を表すものとして、次の中から不適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア．あなたの趣味はどのようなものですか？
- イ．あなたは今、何について悩んでいるのですか？
- ウ．あなたは何を生きがいとしているのですか？
- エ．あなたの人生で最も感動したことは何ですか？
- オ．あなたの学校の偏差値はいくつですか？

問四 傍線部2「とてつもなく薄っぺらいものとなっていく」のはなぜだと考えられますか。次の中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア．分かりやすさを第一として平等性を確保する反面、感性の格差を拡大することになってしまうから。
- イ．物事をどのように捉えて、考えたり感じたりしているのか、個々人の差異の一切を問わなくなるから。
- ウ．人生は元来薄っぺらいもののなのに、さらに虚飾で覆い隠すことが推奨されるようになってしまったから。
- エ．日常生活でも自分の頭と感性を使わない生き方の負の側面ばかり強調されるようになっていくから。
- オ．煩雑なことに追われる現代社会では極力、対人関係を効率的に行うことでしか休息を得られないから。

問五 傍線部3「恐ろしい話」とありますが、なぜ恐ろしいと筆者は感じているのですか。次の中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア．「豊かな社会」がもたらすものは簡潔で無駄のない会話だけなので、お喋りな人にとって生きにくいから。
- イ．パーティーで初対面の人が行う会話は、年収の額に制限されるので、低所得だと参加しにくくなるから。
- ウ．「聞き慣れない職業」に溢れるニューヨークは先進的で、日本人は遅れを取った気持ちにさせられるから。
- エ．その人の感情や考え方、生き方ではなく、年収の数字だけでその人を知った気持ちになってしまうから。
- オ．日本社会で通用した会話も、アメリカのパーティーでの会話も類似したものであったことに驚いたから。

問六 傍線部4「まかり通ってきた」の用法とは異なる、誤った表現を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア．この苦境にあつてとんでもない精神論がまかり通っている。ひどい世の中だ。
- イ．誰も責任を取りたくないから、現場に丸投げすることがまかり通ってきた。
- ウ．こちらに正義があれば、すべてまかり通るという訳でもないのだ。
- エ．明日は荒天の予報が出ているので傘を持参することがまかり通るだろう。
- オ．「言つたもの勝ち」がまかり通ると、ルールを守る人が損をしかねない。

問七 傍線部5「皮肉な現象」になってしまった原因として、次の中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア．多様な文化を軽視して、数字で私たちの「生きる意味」を規定するようになってしまったから。
- イ．多様な文化によって成り立っている世界を、グローバル経済の視点からは認めなくなかったから。
- ウ．効率的なコミュニケーションを求めると同時に、相手の文化的な背景も理解しようとしたから。
- エ．固有の「生きる意味」を探索していくと、対話において数字を使いこなすことが困難になるから。
- オ．数字の大小で優劣が決まることで瞬時にコミュニケーションを取ることができるようになったから。

問八 本文中の「生きる意味」と同じ内容の表現を本文中から五文字で抜き出しなさい。

問九 傍線部6「真の豊かさ」の具体的な内容として本文中より該当する部分を六十五字で抜き出し、最初と最後の五文字を答えなさい。(句読点、かつこを含む)

問十 この文章で最も伝えたいメッセージとして次の中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア．多様性を肯定する時代へ
- イ．数字の勝利の時代へ
- ウ．分かりやすさの時代へ
- エ．グローバリズムの時代へ
- オ．文明的課題の時代へ

問十一 次の例文の傍線部は敬語ですが、その使い方として、適切なものには○、不適切なものには×で答えなさい。

- ① 先生は最後の授業で、私たちに、自主的に学ぶ大切さを申し上げたのでした。
- ② 皆さん、私の故郷にバーチャルツアー（仮想的旅行）でどうぞ参つてください。
- ③ 著名な詩人の直筆メッセージを間近で一覽になる、良い機会を私は得た。
- ④ 我が家で収穫したカボチャで作ったパイです。どうぞいただいてください。
- ⑤ もう晩ご飯の時間も近づいてきたので、そろそろおいとましようと思います。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

中学生の「私（朋子）」は、父を亡くし、母は東京の専門学校で一年間勉強している家庭で育った。「私」は兵庫県芦屋市に住む伯母夫婦に預けられることになった。伯母夫婦は、ミーナという娘とローザおばあさん、家政婦の米田さんと暮らしている。

※「謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。」

突然このようなお手紙を差し上げます。ブレイン、お許し下さい。私は日頃から貴社発行の書物に親しんでおります、一愛読者でございます。

さて、現代思想史シリーズ第十三巻、『土俗信仰―そのカオスと受難』、大変充実した内容で、興味深く拝読いたしました。ただ一箇所、下記のような誤植を発見し、失礼とは思いつながら一言お知らせすべくお便りする次第です。

三百十九ページ、十四行、上から二十八字め

尻僧↓尼僧

これから教養あふれる、格調高い書物と出会えますことを願っております。陰ながら貴社のますますのごハッデン、お祈り申し上げます。

※「謹白」

伯母さんは誤植を発見すると、発行元に向けてこうした手紙を書き送った。返事が返ってくることは稀で、多くの場合は無視されたが、それでも時折丁寧な会社からはお詫びと感謝の手紙が送られてきた。栗やブックカバーやボールペンなど、ちょっとしたお礼の品が添えられていることもあった。

「伯父さんの会社からは返事が来た？」

広報誌の伯父さんの挨拶文で、フレッシュがヌレッシュになっていたのを思い出して私は尋ねた。「来ない」

伯母さんは「A」返事をした。

「身元がばれないように、米田さんの名前で出したんだけどね。米田さんには「サイショよ」

直接伯父さんに指摘してあげればいいのに、とふと思ったが、口には出さないでおいた。

「大事な看板商品の名前を間違えておきながら、お詫びにフレッシュの一本も送ってこないなんて、失礼よね」

伯母さんは「X」をすくめた。

しかしもちろん、誤植探しの目的はお礼の品物にあつたのではない。伯母さんがどんな小さな間違いも見逃せない、几帳面すぎる性格をしていたとも思えない。

伯母さんはただ、活字の砂漠を旅し、足元に埋まつた一つの誤植を救い出そうとしていただけだ。彼女自身の言葉を借りれば、それは砂の海に輝く一粒の宝石であつたらしい。もし掘り出さないでいれば、誤植は長い年月闇に埋もれたままになってしまう。誰の目に留まることもなく、踏み潰され、置き去りにされる。そのことが伯母さんには耐えられなかつたのだ。

喫煙ルームは文字通り煙草とお酒のための部屋であると同時に、砂漠を旅するための場所でもあつた。一日のうちで伯母さんが最も長い時間を過ごしたのがそこだつた。彼女以外、誰もその部屋に用事はなかつた。当然ミーナは発作の心配から出入りを禁止されていたし、ローザおばあさんはウィスキーのにおいを嫌つていた。かつて舶来品の葉巻が納められていただろう飾り棚の引き出しには、伯母さん愛用の国産煙草の箱が転がっているだけで、「B」伯父さんがお客さんをそこへ案内することはなかつた。

唯一の例外は私だつた。伯母さんが喫煙ルームにこもりつきりになると、訳もなく落ち着かなくなり、扉に耳を押し当てる。岡山の高親がお酒を一滴も飲まなかつたせいで、アルコールに対して必要以上に恐れを抱いていたのかもしれない。「C」どんなに耳を澄ませても扉の向こうからは何の気配も伝わらず、とうとう我慢できなくなつてノックをしてしまう。

彼女はちびた鉛筆を片手に、ひつきりなしに煙草の煙を吐き出しながら、一粒一粒砂を選り分けるようにして活字をなぞっている。私に邪魔をされても迷惑そうな様子は見せず、あら、朋子、と言つづやいてまたすぐ孤独な作業に戻つてゆく。立派な革装の書物もあれば、粗悪なリーフレットもあるが、そんなことは大した問題にはならない。伯母さんにとって大事なものは、自分が向かおうとしている目的地ではなく、足元に広がっている活字の数々だけだ。

すくつてもすくつてもも^て掌^{ひら}からこぼれ落ちてゆくのは、⁵非⁵の打ち所^{うちどころ}のない、真つ当な活字たちばかりだ。けれど伯母さんはあきらめず、うつむいて何度でも砂の中に両手を差し入れる。背中を丸め、
Yをひそめ、瞬きさえ忘れて指先の一点を見つめている。

私は、別に用事があるわけじやなく、ただ暇だからここにいただけなの、という振りをしてカーテンの間^{すま}から外をのぞいたり、辞書をばらばらめくつてみたりするが、本当は伯母さんのことが気掛かりで仕方ない。砂漠は遠く、果てがなく、オアシスはみんな塵^{ちり}氣^き楼^{ろう}で、伯母さんより他に旅人はただの一人も見当たらないのだから。

「あっ」

初めて伯母さんは手を止め、顔を上げる。

「ほら、ここ……」

私は急いで隣に駆け寄り、伯母さんが指差すところを声に出して読み上げる。

「……彼は精魂^{しんこん}尽き果て、その場に崩れ落ちた……」

「精魂^{しんこん}は、精根^{しんこん}でなくてはね」

伯母さんは魂^{たま}の字に丸をつける。ようやく一粒だけ掌に残ったその一文字を^⑤慈^{あはれ}しむように、誰のとも知れないさ迷う魂^{たま}を慰めるように、丸で囲む。

欲しいと望めばいくらかでも本物の宝石を手に入れることだつてできたはずなのに、伯母さんが求めたのは誤植^{ごてい}という名の宝石だけだつた。彼女の慰めとなつたのは、自分を目立たせるためのキラキラとした指輪やネックレスではなく、目立たない場所に放置された誤植^{ごてい}だつた。伯父さんのいない夜、ミーナが入院^{りやういん}している夜、伯母さんは本物の宝石を扱うのと同じ丁寧さで誤植^{ごてい}と対話した。そうして次の朝、^⑥本来あるべき場所へ帰れるよう祈りつつ、迷子^{まご}になつた言葉^{ことば}たちを封筒^{ふうとう}に入れ、ポストへ投函^{とうかん}するのだつた。

(小川洋子『ミーナの行進』から一部抜粋 中公文庫)

※ 謹啓^{きんけい}：手紙の最初に書く、挨拶の語。

※ カオス^{カオス}：混^まとん^{とん}。混乱^{こんらん}。

※ 謹白^{きんぱく}：手紙の最後に書く、挨拶の語。

※ 誤植^{ごてい}：印刷物で、文字・記号などに誤りがあること。

※ フレッシュ^{フレッシュ}：伯父さんの会社で製造している飲料。

※ オアシス^{オアシス}：伯母さん夫婦宅に勤める家政婦。

※ オアシス^{オアシス}：砂漠の中で水がわき、樹木の生えているところ。

問一 二重傍線部①く⑤のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直して答えなさい。

問二 **A**に当てはまる語句として、次の中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア．はつらつと
- イ．気のない
- ウ．キビキビと
- エ．叫ぶように
- オ．ウキウキと

問三 **X** **Y**に当てはまる語として、次の中から最も適当なものを一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア．首
- イ．手
- ウ．足
- エ．腰
- オ．息

問四 傍線部1「砂」・2「一粒の宝石」について、これらは比喩^{ひゆ}(例え)である。1・2は何をたとえているのか、傍線部1を二字で、傍線部2を五字で抜き出して、答えなさい。

問五 傍線部 3 「踏み潰され、置き去りにされる」について、この用法として、次の中から最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア．直喩法
 イ．隱喩法
 ウ．擬人法
 エ．倒置法
 オ．感嘆法

問六 **B** に当てはまる語として、次の中から最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア．とつとつに
 イ．もはや
 ウ．ますます
 エ．とうとう
 オ．そろそろ

問七 **C** に当てはまる語として、次の中から最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア．そして
 イ．だから
 ウ．すると
 エ．または
 オ．しかし

問八 傍線部 4 「私に邪魔をされても・・・作業に戻ってゆく」について、このような伯母さんの様子に対して、「私」はどのような気持ちを持っているのか、次の中から最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア．冷淡な伯母さんに恐怖を感じている。
 イ．忙しそうなお伯母さんの邪魔をするまいと緊張している。
 ウ．伯母さんのことが気掛かりで仕方がない。
 エ．伯母さんに構って欲しくて、そわそわしている。
 オ．伯母さんの手伝いがしくて仕方がない。

問九 傍線部 5 「非の打ち所のない」の意味として、次の中から最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア．釘をさす場所がない
 イ．少しも欠点がない
 ウ．非難する意味がない
 エ．悲しみを表す術がない
 オ．非情な仕打ちがない

問十 傍線部 6 「本来あるべき場所」とは、どこを指すか、次の中から最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア．ある文字が正しく使われる場所
 イ．ある文字が帰る家
 ウ．ある文字が生まれた作家の所
 エ．ある文字が作られた出版社
 オ．ある文字が眠られるお墓

【三】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

勅[＊]解由相公^{しやうこう}有^{あり}国^{くに}卿^{けい}、若^もかりけるころ、父[＊]豊前守^{ぶんぜんしゅ}に具^ぐして、筑紫[＊]にありける時、父[＊]にはかに病^{やまひ}を受けて死^しにければ、有^{あり}国[＊]泰山府君^{たいざんぷくくん}の祭^{まつり}を法^{はふ}の^ととく、心^{こころ}をいたしてし奉^{ほう}りけるに、三時^{さんじ}ばかりありて、生き返りていはく、【「[＊]われ、閻魔^{えんま}の[＊]庁^{ちやう}に召^めされたりつるに、美麗[＊]なる癢^{かゆ}をそなへたるによて、[＊]返しつかはすべき由^{よし}、定めあるに、冥官[＊]一人^{ひとり}、輔道[＊]をば返し[＊]つかはさるるといへども、[＊]有国[＊]をば召さるべし。そのゆゑは、その道のものにあらずして、その祭をつとむ。そのじが、なかるべきにあらずと申すに、また座に着きたる人、『有国、とがあらず。その道のものなき遠国の境にて、孝養[＊]心^{こころ}にたぐ[＊]なしとするわけにはいけな[＊]い。我^{われ}隠^{かく}せきま、す、この祭をつとめたらむ。沙汰[＊]に及ぶべからず』と申すに、着座の人々、みな『これに同じ』と申すによて、[＊]今返[＊]されたるなり』といひけり。

か[＊]の修因感果^{しゆいんかんとくわ}の、かぎりなき政事^{せいじ}の中にも、かやうのことにつきて、なほ冥慮[＊]各別^{かくべつ}なり。いはむや人間をや。しかれ[＊]ば、賞[＊]をばすすめ、刑[＊]をばなだめて、慈悲[＊]をさきとせむこと、さだめて、上は天意^{てんい}に達し、下は人望^{じんぼう}にかなはむものをや。

(新編日本古典文学全集『十訓抄』より引用)

- ※勅解由相公 ……官職。その地を治める国司が交代する際、新任者が前任者の事務引き継ぎを行つた書類を審査する部署の長官。
- ※豊前守 ……官職。現在の福岡県東部と大分県北部にあたる地域为国司。
- ※筑紫 ……現在の九州全域を指す。
- ※泰山府君の祭 ……中国の泰山という地域に住む生命・禍福を司る神「泰山府君」を祭ること。陰陽道の専門家のみが行うことを許された儀式。
- ※閻魔の庁 ……閻魔王がいる庁舎。ここで死者の生前の罪を裁いたとされている。
- ※癢 ……ここでは「酒や食べ物などのこと」のこと。
- ※冥官 ……閻魔庁の役人。
- ※輔道 ……有国の父。
- ※その道のもの ……泰山府君を祭ることを許されている者。陰陽道の修行をしていた者のみが許されていた。
- ※とが ……罪。
- ※修因感果 ……因果応報のこと。善い行いをすれば善い結果を得られ、悪い行いをすれば悪い結果を受けるという考え方。
- ※冥慮 ……冥官の判断、意見。

問一 本文中にある次の語句を、例にならつて現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで答えなさい。

(例) いふ → いう

- ① にはかに ② ゆゑ ③ たべず ④ かやう ⑤ なほ

問二 傍線部1「われ」とは、誰のことか。次の中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 有国 イ. 有国の父 ウ. 豊前守 エ. 泰山府君 オ. 冥官

問三 傍線部2「返しつかはすべき由」とあるが、この説明として次の中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 冥官は、閻魔庁で有国の父を見かけて、閻魔王の元へ行かせようと考えたということ。
- イ. 有国は、立派な供えものをしたという理由で、現世に戻してあげようと閻魔の庁から言われたこと。
- ウ. 有国は、夢の中で、閻魔の庁に対して祭事を豪勢にするよう、父から頼まれたということ。
- エ. 有国の父は、有国が立派な祭事をしたという理由で、現世に戻るようになっていたということ。
- オ. 有国の父は、閻魔の庁から大層なもてなしを受けたという理由で、冥官に返し返す必要があつたということ。

問四 傍線部3「有国をば召さるべし」とあるが、それはなぜか。その理由を表す一文を探し、最初の五字を答えなさい。

問五 【 】の範囲内には、会話文を表す『 』がもう一ヶ所抜けている。その会話文の始めと終わりの五字をそれぞれ抜き出しなさい。

問六 傍線部4「今返されたるなり」とあるが、なぜ閻魔庁にいる冥官たちは有国の父を生き返らせたのか。次の中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 有国の、父を思う気持ちに冥官たちが心を動かされ、陰陽師の専門家がいな九州で祭事を行つた有国を許すことにしたから。
- イ. ある一人の冥官が病気で閻魔庁に来た有国の父をかわいそうに感じたことで、周りの冥官たちもつられて有国の父に同情したから。
- ウ. 陰陽道の専門家でもないのに祭事を行つたという罪を犯した有国が、父と引き換えに閻魔庁に連れて来られることになつたから。
- エ. 閻魔庁の裁判を取り仕切つていた閻魔王が、亡くなった父のために、許されていない祭事を行つた有国の行動に心を動かされ、二人を許すことにしたから。
- オ. 有国が行つた祭事は閻魔庁で大層評判が良かったため、祭事で得られた有国の功績によって有国の父を許そうと考えたから。

問七 本文から読み取れる教訓として、次の中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 有国のように、親に孝行をする人間は、たとえどんなことをしても許されるのだということ。
- イ. 資格がないのに祭事を行つた有国を罰したように、賞罰の基準ははつきりすべきだということ。
- ウ. 資格がないのに祭事を行つた有国を許した閻魔の庁のように、慈悲の心を持って接することが大切だということ。
- エ. 過去の行いは天が見ているので、有国のようにいつ見られていても良いように過すべきだということ。
- オ. 過去の行いは天が見ているので、気持ちは別にして、理屈に沿って深く考えるべきだということ。

問八 この作品が成立した時代およびジャンルを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|--------|---------|---------|---------|---------|----------|
| (成立時代) | ア. 奈良時代 | イ. 平安時代 | ウ. 鎌倉時代 | エ. 室町時代 | オ. 江戸時代 |
| (ジャンル) | ア. 説話 | イ. 物語 | ウ. 随筆 | エ. 日記 | オ. 俳諧紀行文 |

二〇二一年度 大阪学院大学高等学校入学試験
国語解答用紙

※印のところは記入しないこと

受験番号	
------	--

◎受験番号を忘れないこと

三	問一	④	①		⑤	②		③	
	問二								
	問三								
	問四	最初							
	問五	最初					最後		
	問六								
	問七								
	問八	成立時代							
	ジャンル								

二	問一	④	①		⑤	②		③	
	問二								
	問三	X			Y				
	問四	1		2					
	問五								
	問六								
	問七								
	問八								
	問九								
	問十								

一	問一	④	①		⑤	②		③	
	問二	A			B			C	
	問三								
	問四								
	問五								
	問六								
	問七								
	問八								
	問九	最初					最後		
	問十								
	問十一	①			②			③	
							④		
								⑤	

得点	※
点	

※	※
※	※

※	※
※	※

※	※
※	※

※印のものは記入する

得点	※
----	---

問一	①	ひそ	②	いきよ	③	かつとう
問二	④	た	⑤	へいがい		
問三	A	エ	B	イ	C	イ
問四		オ				
問五		イ				
問六		エ				
問七		ア				
問八	生	命	の	輝	き	
問九	最初	こ	こ	に	か	け
					最後	界
						の
						豊
						豆
						か
						さ
問十		ア				
問十一	①	×	②	×	③	×
					④	×
						⑤
						○

完答

[illegible]

一	問一	①	無礼	②	発展				③	内緒	
		④	してき	⑤	いつくしも						
	問二	イ									
	問三	X	ア		Y	オ					
	問四	1	活	字	2	一	つ	の	誤		植
	問五	ウ									
	問六	イ									
	問七	オ									
	問八	ウ									
	問九	イ									
問十	ア										

[illegible]

二二

問一	①	にわかに					②	ゆえ					③	たえず				
	④	かよう					⑤	なお										
問二	イ																	
問三	エ																	
問四	最初	そ	の	ゆ	ゑ	は												
問五	最初	輔	道	を	ば	返	最後	き	に	あ	ら	ず	完答					
問六	ア																	
問七	ウ																	
問八	成立時代	ウ																
	ジャンル	ア																

	✖	✖
		✖

たゞし

◎受験番号を忘れなうこと

受驗番号